

画像	書名	出版社名	著者	内容情報	ジャンル
	Kengo Kuma: Portland Japanese Garden	Rizzoli Electa	英語版 Botond Bognár (著), Balazs Bognar (著), Kengo Kuma (序論)		洋書
	KENGO KUMA: COMPLETE WORKS(H)	Thames & Hudson	英語版 Kengo Kuma (著), Kenneth Frampton (序論)		洋書
	隈研吾作品集 2013-2020—KENGO KUMA 2013-2020 ペーパーバック – 2020/8/24	発行所=エーディーエー・エディタートーキョー	隈研吾 二川由夫 G A p h o t o g r a p h e r s	マルセイユ現代美術センター フランス、マルセイユ、2007-13年 プザンソン芸術文化センター フランス、プザンソン、2007-13年 九州芸文館 本館 福岡県筑後市、2008-12年 他	和書
	隈研吾作品集 2006-2012—KENGO KUMA 2006-2012	発行所=エーディーエー・エディタートーキョー	隈研吾 二川幸夫	「弱い建築」の先にある 変幻自在の建築術。ローカルから世界へ、世界からローカルへ、縦横無尽に駆け抜ける建築家・隈研吾。テクノロジーと伝統、身体と自然、抽象と具体、ヴォキャブラリーはまさに変幻自在。2006年から2012年までの54作品、11プロジェクトを包括した作品集第2弾、遂に登場。	和書
	隈研吾／極小・小・中・大のディテール	発行所=彰国社	隈研吾 隈研吾建築都市設計事務所	「極小の建築」「小の建築」で発見した様々な素材の基本単位寸法を応用し、「中の建築」「大の建築」でも身体スケールを保ち、場所とつながろうとする、このような隈研吾の建築の特長を最近作を通して紹介します。	和書
	境界	発行所=淡交社	高井潔 隈研吾	重文級の伝統建築の写真を中心に、縁側・のれんなど、「日本の間仕切りの美」を紹介。日本を代表する建築家3氏の作品も掲載。建築界のグローバルスタンダードにもなりうる、「日本的なもの」の可能性を示唆する1冊。	和書
	負ける建築	発行所=岩波書店	隈研吾	周囲の環境を圧倒して屹立する超高層ビルなど二〇世紀型の「勝つ建築」は、いまやその「弱さ」を露呈しています。二一世紀の建築はもっと様々な外力を受けいれる「負ける建築」の方にむしろ可能性があるのではないのでしょうか。二〇二〇年の東京オリンピックの舞台となる新国立競技場の設計に携わった著者の、二〇世紀の建築史や現代思想、アートへの幅広い関心にもとづいた独自の建築哲学がうかがえる論集。	和書
	隈研吾はじまりの物語	発行所=青幻舎	隈研吾 瀧本幹也	建築家・隈研吾の原点、高知県・梶原町。隈と梶原の約30年に渡る歩みを、隈自身による語りと写真家・瀧本幹也が切り取った梶原の隈建築群の写真で辿る、写真文集。	和書
	建築家になりたい君へ (14歳の世渡り術)	発行所=河出書房新社	隈研吾	10歳で建築家を志し、2020年東京オリンピック会場をてがけた建築家が綴る10代へのメッセージ。建築知識も満載。	和書
	点・線・面	発行所=岩波書店	隈研吾	建築を社会、そしてその変化から語り始め、これからの建築、これからの人間を考えます。	和書
	くまの根	発行所=東京大学出版会	隈研吾	各界第一線で活躍する協働者・恩師・友人ら22人と語る建築家・隈研吾の創作のルーツ。隈を交えた鼎談では知られざるエピソードや影響関係が明かされます。2019年から2020年に東京大学安田講堂で行われた「隈研吾教授最終連続講義—工業化社会の後にくるもの」待望の書籍化。	和書

画像	書名	出版社名	著者	内容情報	ジャンル
	ひとの住処	発行所=新潮社	隈研吾	人間にとって建築とはなにか？ ふたつのオリンピックをつなぐ、圧巻の半自伝的文明論、登場！	和書
	日本の建築	発行所=岩波書店	隈研吾	都市から自然へ、そして集中から分散へ……。モダニズム建築とは異なる道を歩んだ日本の建築家の足跡を辿り、その精神に迫ります。	和書
	全仕事	発行所=大和書房	隈研吾	閉じた箱からの解放、新しい公共性など未来の建築のあり方を模索してきた思想と実践を語り尽くす。最新作品集にして比類なき建築論。	和書
	日本人はどう死ぬべきか？	発行所=新潮社	養老孟司 隈研吾	定年後の生き方、理想の最期、葬儀、墓、時代を超え残っていく建築など、知の巨人二人が死について縦横無尽に語り合います。文庫化に際して特別対談「これからの日本人の死生観」を増補。	和書
	日本人はどう住まうべきか？	発行所=新潮社	養老孟司 隈研吾	大震災と津波、原発問題、高齢化と限界集落、地域格差……。二十一世紀の日本人を幸せにする住まいを考える、贅沢対談集。	和書
	隈研吾による隈研吾	発行所=大和書房	隈研吾	「和」の大家・隈研吾が、`負ける建築、という独自の哲学のルーツを語ります。国立競技場だけじゃない、絶対に見るべき「隈建築」入門！	和書
	場所原論	発行所=市ヶ谷出版社	隈研吾	建築家・隈研吾の代表作 15 事例と実験事例 3 例を取り上げ、カラー写真と図版で詳細に解説。「場所」と「建築」の関係を、歴史から徹底的に分析してまとめた教科書。3・11の震災後の新しい建築哲学を盛り込んでいます。	和書
	場所原論 2	発行所=市ヶ谷出版社	隈研吾	都市と統合できる建築を目指して。隈研吾は、こうして風土と共に生きています。	和書
	隈研吾オノマトペ建築	発行所=エクスナレッジ	隈研吾	ぱらぱら、さらさら、ぐるぐる……。建築家自身がオノマトペを使って解説し、建築の新しい方向を示した画期的作品集。2005年から15年までに至る自撰32作品を全頁カラーで紹介。ロングインタビューも収録。	和書
	熱帯建築家	発行所=新潮社	隈研吾 山口由美	空と海につながっていくプール、山に抱かれる建物……。自然と一体化する独特の建築を読み解き、14のホテルとヴィラを徹底取材。スリランカが生んだ注目のバウ建築を楽しむ日本初のガイドブック。	和書
	建築家、走る	発行所=新潮社	隈研吾	世界中から依頼が殺到する建築家は、日々、悩みながら疾走する。時代に挑戦し続ける著者が語り尽くしたユニークな自伝的建築論。	和書
	広場	発行所=淡交社	鈴木知之 隈研吾 陣内秀信	先鋭の建築家らの手による「現代の広場」、また設計意図を超え自然に人が集まる場など公共空間の様々な事例を紹介。現代日本における「パブリックスペース」論の集大成。英文対訳付き。	和書

画像	書名	出版社名	著者	内容情報	ジャンル
	住宅らしさ	発行所=エーディーエー・エディタ・トーキョー	隈研吾 二川幸夫	「住宅らしさ」を捜すために、ほくは住宅を設計する。住宅の設計を通じて、その考えを捜し続ける。「住宅らしさ」を拡張し、建築のすべてを住宅化し、住宅で覆い尽くすために…。隈研吾が住宅について語り尽くしています。	和書
	小さな建築	発行所=岩波書店	隈研吾	小さく自立した能動的な存在として、「小さな建築」は人間を世界とつなげる。小さな単位を「積む」、大地に「もたれかかる」、ゆるやかに「織る」、空間を「ふくらます」。斬新な発想から建築の根源を問う。	和書
	つなぐ建築	発行所=岩波書店	隈研吾	空間の市場化を推し進めたグローバル経済の破綻、そして東日本大震災は、建築の未来をどう変えるのか。各界の第一線で活躍する7人の論者と語る。建築界の第一線で飛躍を続ける著者の、震災前後の思考の記録。	和書
	新・ムラ論TOKYO	発行所=集英社	隈研吾 清野由美	「ムラ」とは何か。それは、安心して生活できる共同体のありかであり、多様な生き方と選択肢のよりどころとなる「場所」です。そんな「ムラ」の可能性を探って、下北沢、高円寺、秋葉原、小布施を歩きます。	和書
	三低主義	発行所=NTT出版	隈研吾 三浦展	出口の見えない現代日本、私たちはどのようなライフスタイルを選択すべきか。キーワードは「三低」。低価格・低姿勢・低依存という視点から、これからの都市、建築、住宅、そして社会のあるべき姿を考えます。	和書
	反オブジェクト	発行所=筑摩書房	隈研吾	デカルト以降の思想史パースペクティブから現代建築を捉えなおし、「消去する」「粒子へと砕く」などの試みを通して、新たな可能性を拓きます。世界中で進行中のプロジェクトで、いまもっとも注目を集める著者による、思索と宣誓の書。書下ろし自著解説付。	和書
	自然な建築	発行所=岩波書店	隈研吾	20世紀を覆い尽くしたコンクリートは、場所と素材との関係性を断ち切り、自然を画一化する建築でした。タウトやライトの方法論を引き継ぎ、水、石、木などの素材をそれぞれの場所に活かす試みの数々を語ります。	和書